

事業の背景・目的

トサシミズサンショウウオは高知県土佐清水市のみで生息する止水性のサンショウウオで、生息地が限られていることから絶滅が心配されており、現在わんぱくこうちアニマルランドを中心に飼育繁殖、普及啓発などの生息域外保全および、生息地における人工的な産卵場や池の整備、モニタリングなどの生息域内保全が行われている。当園においてもトサシミズサンショウウオの飼育繁殖、普及啓発に力をいれることで、本種の遺伝的多様性を持った個体群の維持及び普及啓発の推進を図る。

事業の内容

- 事業① 飼育施設整備事業：トサシミズサンショウウオの飼育繁殖に必要な消耗品・備品を購入し、飼育施設の拡充を行う。
事業② 普及啓発事業：トサシミズサンショウウオの生態や保護の必要性を啓発するため、説明パネルの設置や啓発パネルの配布を行う。
事業③ 飼育繁殖技術整備事業：トサシミズサンショウウオの飼育繁殖技術を導入するため、飼育繁殖実績のある園へ職員を派遣し、視察・研修を行う。

得られた成果

- ・飼育ケースや低温インキュベーター等を購入し、飼育施設の拡充を行った。
- ・説明パネル2基の設置や啓発チラシの配布を行い、トサシミズサンショウウオの生態や保護の必要性を啓発するためガイド等の啓発事業を開始した。
- ・飼育繁殖実績のある園に当園の飼育担当者2名を派遣し、3日間の研修を通じてトサシミズサンショウウオの飼育繁殖に必要な知識と技能を習得した。
- ・トサシミズサンショウウオの飼育繁殖を継続するとともに、同種の生態や保全の重要性の普及啓発を行い、国内希少種の生息域内外保全や動植物全般の生物多様性保全の取組の重要性を発信していく。トサシミズサンショウウオの生息域内外保全の取組を中心となって行っている園と連携を図り、同種の生息域外保全等に寄与する。

